

第一学年 技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

授業者 宮崎 茜

1 題材名「衣服の選択と手入れ」 B(4)ア(ア)(イ)、イ

2 題材の目標

- (1) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態の応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

3 題材について

私たちの衣生活は、社会のグローバル化等の変化に伴い、流行のアイテムを低価格で入手するファストファッションが主流になっており、インターネットなどの通信販売を利用することで、より手軽に購入できるようになった。そのような中で、ファッションへの関心が高まるとともに、販売時には安さが強調され、一つの服を適切に手入れして長く着る、という意識を持ちにくい社会になっている。その一方で、昨今ではSDGsの考えが広がり、丁寧な暮らし方が注目され、衣生活でも着心地を重視し、質の良い物を大切に着る、という生活スタイルが見直されてきている。ワークライフバランスの考え方も様々で、できるだけ家事に時間をかけなくても良いよう、洗濯代行のサービスなども増えているが、より多くの視点から自らの衣生活について考え、実践できる力を身につけさせることは、これからの社会を創っていく生徒を育む上でも意義のあることだと言える。

本題材は学習指導要領の内容B「(4)衣服の選択と手入れ」を基に設定した。自分の衣生活に関心をもたせるとともに、衣服を適切に選択することや、状態に応じた補修などの日常着の手入れについて学習できるようにする。また、これからの衣生活をよりよくしようとする能力と態度を育て、次題材の「(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」や日常生活での実践につなげたい。

本校の生徒は、小学校までに衣服の主な働きと快適な着方、ボタン付け及び洗濯の仕方などの衣服の手入れ、生活を豊かにするための布を用いた製作について学習してきている。生徒への事前のアンケートを実施し、気温の変化に応じて衣服を着る工夫をしている90.1%、ボタン付けができる62%、靴下やTシャツ、体育着などを手洗いすることができる67.6%、目的に応じて手縫いやミシン縫いができる59.2%という結果だった。中学校では、内容A「家族・家庭の生活」の中で、家庭の仕事について聞いたときに「洗濯をする」と答えた生徒はごく少数だった。また、事前のアンケートから、「衣服を計画的に活用し、適切に手入れをする」という項目には、できない/していないと答えた生徒が4.2%で、大体できる/ときどきしていると答えた生徒が47.9%であり、できると自信をもって答えた生徒と半々だった。「衣服を選ぶときの視点」についてはサイズや値段、自分に合うか、という回答が多く、手入れと答えたのは135人中5人であった。

これらのことから、衣服の選択においては、さらに多くの視点を持たせること、衣服の手入れにおいては、知識や技能の習得だけでなく、学んだ知識や技能を実生活で活かせるものにするのが重要だと考えられる。指導に当たっては、生徒に自分の生活を振り返らせながら、自分の生活の中から課題を見いださせ、課題意識をもって学習に取り組めるように工夫する。またパフォーマンス課題を設定することで、学習を生かす場面をより具体的にすることで実生活と結び付けながら学習を進められるようにし、身につけた知識や技能を生徒自身が使えるようにさせたい。学習毎に振り返りを書かせ、課題解決に向けて自らの学びを改善できるようにし、必要に応じてフィードバックをする。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態の応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 	<p>衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

5 全体研究との関わり

(1) 「主体的な学び」のプロセスモデルを実現するための手立てについて

本校の考える「主体的な学び」とは、エンゲージメントが高められた姿である。それは、生徒が粘り強く学習に取り組み、自己調整しながら学ぶ姿である。文科省が示す、主体的に学習に取り組む態度の評価の尺度である、「粘り強い取組を行おうとする側面」と「自らの学習を調整しようとする側面」、家庭科独自の「実践しようとする態度」は、エンゲージメントの3つの側面すべてで見られる。これを基に考えられた附属中「主体的な学び」のプロセスモデルと家庭科の一連の学習過程を組み合わせ「学びの過程」として、家庭分野での主体的な学びの実現を目指したい。授業では、パフォーマンス課題を設定して生徒がより自分の生活をイメージして学習に取り組めるようにすることや、ICTを活用して生徒がより主体的に学習に取り組めるようにすることを実践したい。また、学習毎の振り返りシートを活用することで、粘り強く学習に取り組み、自己調整しながら学ぶ生徒の育成をめざしていく。振り返りシートで記入させる項目は次のように設定した。

1. よりよい衣生活のために必要だと思うこと（自己調整学習方略を促す問い）
2. 課題の解決に向けて（具体的な方略調整を表出させる問い）

①自分の生活と結び付けて考えたこと ②他の人から学んだこと ③新たに知りたかったこと

3. 学習全体のまとめ（主体的な学びを表出させる問い）

振り返りシートのフィードバックは、「十分満足できる」状況（A）と判断できるものには“Good!”、「おおむね満足できる」状況（B）と判断できるものには“OK”とコメントをつけるようにした。また、「努力を要する」状況（C）と判断される生徒やAやBと判断できる生徒へも、必要に応じてコメントをフィードバックするようにする。なお、生徒へのフィードバックは、スタンプのみの場合とできていることを認めるようなコメントをする場合とでは、後者の方が生徒の学びに有効な結果が得られる（空尾, 2019）ことから、できる限りコメントでのフィードバックを試みる。

(2) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価について

本題材では、主体的に学習に取り組む態度の評価の場面について、次のように位置付けた。

学習活動における具体的な評価規準	評価の場面と評価資料
評価規準① 粘り強い取組を行おうとする側面	一連の「学びの過程」における生徒の取組状況及び、ワークシートや振り返りシートの生徒の記述
評価規準② 自らの学習を調整しようとする側面	「知る・活かす・深める」の過程での生徒の取組状況及び、ワークシートや振り返りシートの生徒の記述
評価規準③ 実践しようとする態度	「まとめる・振り返る」の過程での生徒の取組状況及び、ワークシートや振り返りシートの生徒の記述

評価規準①～③のそれぞれの評価を総括して題材の評価とする。

評価規準	「十分満足できる」 状況（A）の例	「おおむね満足できる」 状況（B）の例	「努力を要する」 状況（C）と判断される 生徒への手立て
①衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	衣服の選択と手入れに関心を持ち、積極的に他者と関わりながら、課題の解決にあきらめずに取り組んでいる。	衣服の選択と手入れに関心を持ち、課題の解決にあきらめずに取り組んでいる。	わからない点などを教科書やワークシートを見せて内容をつかませる等、適切な指導や助言を行う。
②衣服の選択と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	衣服の選択と手入れについて、授業の中でわかったことや他の生徒の意見を参考にして、課題解決に向けた一連の活動や自分の考えを振り返り、改善しようとしている。	衣服の選択と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動や自分の考えを振り返り、改善しようとしている。	わからない点などを教科書やワークシートを見せて内容をつかませる等、適切な指導や助言を行う。
③よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて工夫し創造し、実践しようとしている。	衣服の選択と手入れについて、複数の観点から工夫し創造し、実践しようとしている。	衣服の選択と手入れについて、工夫し創造し、実践しようとしている。	わからない点などを教科書やワークシートを見せて内容をつかませる等、適切な指導や助言を行う。

評価規準①②③の評価と題材の評価は次のように設定した。評価規準①②③の評価のA、B、Cを3点、2点、1点で換算し合計点を出す。

観点別評価	評価規準①②③の評価	合計点
A	AAA	9
	AAB	8
B	ABB	7
	ABC	6
	BBB	6
	BBC	5
C	BCC	4
	CCC	3

6 指導と評価の計画 (10 時間)

「学びの過程」	プロセスモデル	時	○学習目標 ・学習内容	評価規準・評価方法			小学校との関連
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
「見付ける」 「見通す」	目標設定 方略計画	1	○衣生活について振り返り、自分の課題を見つけよう。 ・自分の衣生活を振り返り、課題を見付ける。 題材全体を貫く課題『衣服の適切な選択と手入れができるようになろう!』		題材を貫く課題 ①衣服の選択と手入れについて課題を見いだして課題を設定している。 <振り返りシート>	①衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 <行動観察> <振り返りシート>	暖かく快適に過ごす着方、すずしく快適に過ごす着方と手入れ、ソーイングはじめての一步
			○衣服の社会生活上の働きについて理解しよう。 ・衣服の社会生活上の働きについて理解する。	①衣服と社会生活との関わりについて理解している。 <定期テスト> ②目的に応じた着用について理解している。 <定期テスト>			
「知る・深める」	遂行 振り返り	2	○目的に応じた着方を踏まえ、自分らしい着方を工夫しよう。 ・TPO を考えながらも、自分らしい着方を工夫したコーディネートを考える。	③個性を生かす着用について理解している。 <ワークシートの記述>			
「知る・活かす・深める」	遂行 振り返り 方略調整	3	○日本の伝統的な衣文化について学び、継承することの大切さに気付こう。 ・和服と洋服の違いを考え、浴衣に触れるなかで、和服の良さについて考える。	④衣服と社会生活との関わり(和服)について理解している。 <定期テスト> <ワークシートの記述>			

		4 5 6 本時	○既制服の選択と購入のために必要な情報を知り、目的に応じた選択ができるようになる。 ・既制服を選ぶときの視点を考える。 ・既制服の表示の種類や意味を理解する。 ・衣服の選択の方法に関する適切なアドバイスを考える。	⑤衣服の適切な選択について理解している。 ＜ワークシートの記述＞ ⑥衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 ＜ワークシートの記述＞ ⑦既制服の表示を読み取り、適切に選択している。 ＜ワークシートの記述＞ ＜定期テスト＞	<u>課題1</u> ②衣服の選択についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりしている。 ＜行動観察＞ ＜ワークシートの記述＞	②衣服の選択と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ＜行動観察＞ ＜振り返りシート＞
		7 8 9 10	○衣服の材料や状態に応じた手入れができるようになる。 ・洗濯、アイロン、ブラシかけ、補修などの衣服の手入れの方法を知る。	⑧衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解していると同時に、適切にできる。 ＜実習の様子＞ ＜定期テスト＞	<u>課題2</u> ③材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善している。 ＜実習の様子＞ ＜ワークシートの記述＞	
「まとめる・振り返る」	全体の振り返り		○衣服の適切な選択と手入れのために必要なことをまとめよう。 ・これまでの学習のまとめをする。		<u>題材を貫く課題</u> ④衣服の選択と手入れについての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりしている。 ＜発表内容＞ ＜振り返りシート＞	③よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて工夫し創造し、実践しようとしている。 ＜振り返りシート＞
「活かす」	家庭実践		・自分や家族の衣服の手入れをする。			

7 本題材における身に付けさせたい資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
・衣服と社会生活との関わり 衣服の選択と着用、計画的な活用と手入れについての基礎的な理解と技能	・家族・家庭や地域における生活の中から衣生活について問題を見だし、課題をもって考え、解決する力	・衣生活を工夫し創造しようとする実践的な態度 ・衣生活における日本の生活文化を継承しようとする態度

8 本時の授業

(1) 日時 令和3年10月27日(水)

(2) 場所 家庭科室

(3) 学習目標 既制服の選択と購入のために必要な情報を知り、目的に応じた選択ができるようになる。

(4) 評価方法

学習活動	学習活動における具体的な評価規準	評価資料	「十分満足できる」状況(A)の例	「おおむね満足できる」状況(B)の例	「努力を要する」状況(C)と判断される生徒への手立て
衣服の選択の方法に関する適切なアドバイスを考える。	態①衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	観察による見取り	グループの友だちの意見を参考にしながら、課題を解決しようとする意欲的に取り組んでいる。	自分の意見を書き込み、課題解決に意欲的に取り組んでいる。	教科書 P.116, 117 を参考にさせる。
	思②衣服の選択についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりしている。	観察による見取り・ワークシート	表示や品質等の選び方の視点を示すだけでなく、その理由や確認方法等をアドバイスすることができる。	表示や品質等の選び方の視点を示すことができる。	教科書 P.116～119 を参考にさせる。
			表示を読み取り、そこからわかる情報を伝えることができる。	表示を読み取り、意味を教えることができる。	教科書 P.116～119 を参考にさせる。
知⑦既制服の表示を読み取り、適切に選択している。	ワークシート	既制服の表示を読み取り、そこからわかる情報などを判断して適切に選択できている。	既制服の表示を読み取り、適切に選択できている。	教科書 P.116, 117 を参考にさせる。	
本時の学習内容のまとめをする。	態②衣服の選択と手入れについて、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。	振り返りシート	わかったこと、改善点などを振り返りシートに記入するとともに、具体的な生活事例と結び付けて考えられている。	わかったこと、改善点などを振り返りシートに記入している。	他の生徒の良い例を提示したり、課題解決のためのアドバイスを振り返りシートにコメントしたりする。

(5) 展開 (45分) (6/10 時間)

時間	学習活動	指導上の留意点	備考
導入 5	○本時の目標を確認する。	・これまでの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。	
展開 23	○衣服の選択の方法に関する適切なアドバイスを考えよう。 ・パフォーマンス課題に個人で取り組む。 ・4人グループで意見を共有する。 ・全体で意見を共有する。	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">パフォーマンス課題</p> <p>去年着ていた服が小さくなってしまったため、友だちのマコトさんと一緒にこれからの時季に着る日常着の買いに来ました。予算は1着買える金額です。マコトさんは、価格とデザイン、好みを基準に3着まで絞り込んだようですが、その後どう選べば良いかわからず悩んでいます。どのように選べば良いか、わかりやすくアドバイスしてあげましょう。また、表示からわかる情報も伝えてあげましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに学んだ既制服の選択と購入のために必要な情報を振り返りながら取り組ませる。 ・ループリックを確認し、意識して取り組ませる。 ・書いたものをお互いに共有する。 ・自分にはなかった視点やなるほどと思ったことなど、友だちの意見を取り入れさせる。 ・発表する人の資料を全体で共有する。 ・友だちの発表を聞き、さらに自分の考えを深めさせる。 	iPad
7	○衣服を選ぶ視点をもう一度考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・以前の考えとどのようなことが変わったか振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>○衣服を選ぶときに気をつけること。 サイズ 値段 似合うか 素材 季節 品質 着心地 洗濯方法 (多い順) ※学習前のアンケートより</p> </div>	iPad
まとめ 10	○本時の学習内容のまとめをする。 ・既制服を選択するときはどのようなことに注意すれば良いか発表する。 ・個人で振り返りシートを記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服を選ぶときの視点は、学習の始めと終わりでのどのように変わったのかを発表させる。 ・既制服を選択するときはどのようなことに気をつければよいか、まとめる。 ・振り返りシートに今日の振り返りを記入させる。 	振り返りシート

9 引用・参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 技術・家庭科編』開隆堂，2018.
- ・国立教育政策研究所『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校技術・家庭』東洋館出版社，2020.
- ・多々納道子・伊藤圭子『実践的指導力をつける家庭科教育法』大学教育出版，2018.
- ・西岡加名恵『「資質・能力」を育てるパフォーマンス評価』K G Kジャーナル，開隆堂，2019.
- ・馬越幸子『平成27年度教員長期研修（前期）各研修内容』広島県立教育センター，2015.
- ・伊藤崇達『学業達成場面における自己効力感，原因帰属，学習方略の関係』教育心理科学研究，1996.
- ・ニルソン，L.B.（編著）美馬のゆり・伊藤崇達（監訳）『学生を自己調整学習者に育てる—アクティブラーニングのその先へ』北大路書房，2017.
- ・ジョン・ハッティ（著）山森光陽（翻訳）『教育の効果：メタ分析による学力に影響を与える要因の効果の可視化』図書文化社，2018.
- ・杵尾紘太郎『ふりかえりシートが理科の自己調整学習方略に及ぼす影響』高知工科大学，2019.